

えんぱわ

「すべての人々に、力を。」

EMPOWER

Vol.59

2020年11月



特集

本が・ラオス・図書支援プロジェクト・
子どもたちの未来を拓く



本が子どもの未来を拓く

-ラオス・図書室支援プロジェクト報告-



ひら

エファジャパン（以下エファ）はラオスで、読書の機会が少ないラオスの子どもたちのために、地域の図書館や学校図書室の開設、運営の支援を中心に活動しています。2009年以降これまでに、地域の図書館を6カ所、学校図書室を71校に設置しました。地域の図書館の支援では、学校等の校舎とは別に独立した図書館を建設、その後、図書の寄贈、運営支援をしてきました。学校図書室の支援では、その学校の既存の校舎の教室を図書室として整備し、図書を寄贈、運営支援をしています。新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いているラオスで2020年度、自治労広島県本部のご支援により、首都ビエンチャン都の西に位置するサントン郡内の4つの小学校に図書室を開設し、運営を支援するプロジェクトが始まりました（2024年末までの5年間、支援を実施する予定です）。自分の学校に図書室ができて、多くの本を手にした子どもたちの喜びと、自治労広島県本部の皆様の想いをお伝えします。

ラオス・サントン郡の状況

ラオスの首都ビエンチャンの中心部では、鉄道や高速道路などのインフラ設備を中心に、近年開発の波が押し寄せ、富裕層や中間層も現れてきました。その一方で、ビエンチャン都中心部から距離が離れており、多くの少数民族が暮らすサントン郡は開発が遅れ、ビエンチャン都近郊では最も貧しい地域とされ、都政府も、この郡を「今後開発が必要な重点地区」と指定しています。

郡内の小学校の整備状況も同様で、中心部から順番に各小学校に図書館あるいは図書室の設置が進んでいますが、サントン郡では図書室の設置されていない小学校がまだいくつかあり（50校中19校）、それが子どもたちの学力や表現力の向上の壁になっていると考えられています。

エファではこの状況から、この地域での学校図書室支援プロジェクトを決定、自治労広島県本部の皆様へ、ご協力をお願いしました。

新型コロナウイルス感染症が、ラオスの国内でまだ拡大していなかった今年1月、エファのラオス事務所スタッフ・ソンパンが、アドバイザーとしてラオス国立図書館のスタッフやサントン郡教育局の職員を伴い、現地の小学校を調査しました。2度の調査を経て、今回の支援プロジェクトを実施する4つの小学校を決定しました。

はじめての図書室

新型コロナウイルス感染症の影響で、ラオス政府は、3月19日にすべての幼稚園と小学校を、さ

らに同月21日には中学校、高校、大学、その他のすべての教育機関を閉鎖しました。しかし、その後、ラオス国内の感染状況は落ち着きを見せ、教育機関は5月18日から段階的に再開されました。

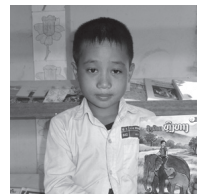
長期間の学校の閉鎖で多少の遅れが生じましたが、9月中旬、4つの村（ケンモー村、ナーサオナン村、ナミエン村、フェイトム村）の小学校に、本棚とともに新しい本が運び込まれ、新たな4つの学校図書室が開設されました。

自分の通学する学校に、はじめて図書室を設置してもらい、それまで見たこともないほど多くの本に囲まれた4つの小学校の子どもたちは、弾ける笑顔とともに歓声を上げました。



「思わず手にしたくなるような本がたくさんある、素敵な図書室が私の学校にできたことを幸せに思います。これからは毎日図書室に来て一緒に本を読もうね!と友だちと盛り上がっています。」（ポーダラ・シマラボンさん/ケンモー村小学校5年生）

『9月になると、本が届くんだよ』と先生から教えてもらった日から、この日が来るのが待ち遠しかったです。やっと僕の学校に図書室ができました。これからは、たくさん本を読みたいです。自治労広島県本部の皆様、僕たちに本を読む機会を与えていただきありがとうございます。コップ・チャイ！（ありがとうございます）」



（ペット・カムマンヴォンくん/ナーサオナン村小学校4年生）

●新しい本を手に笑顔を輝かせるラオス・ケンモー村小学校の子どもたち



「こんなにすてきな図書室ができたことを自慢したいです。おもしろそうな本がたくさんあります。図書室のはじっこからはじっこまで、全部の本を読みたいです。自治労広島県本部の皆様、すてきな図書室をつくっていただきありがとうございます。』（ピム・パイヴァンくん/ナミエン村小学校4年生）

すべての村の人々の日々の生活がより豊かなものになると確信しています。私たち教員にとっても、図書室の運営は初めての経験です。まだ不慣れな点も多々ありますが、日々学びながら子どもたち、教員、そして村の人々に愛される図書室なるよう精進してまいります。コップ・チャイ・ライ・ライ（心より感謝します）」

（ナーサオナン村小学校/タノング・セイ・サオチャンタラ校長）

「小学校に本が届きました。本当にうれしいです。僕は今まで教科書以外の本を見たことがありませんでした。なぜなら家に本がないからです。学校でもこの図書室ができるまで、教科書以外の本はありませんでした。だから僕は今まで一度も物語の本を読んだことがありません。今日図書室で、生まれて初めて物語の本を手にしました。ドキドキしながら本のページをめくりました。ここにある本を全部読みたいと思っています。」

（ボング・ケオヴィレイくん/フェイトム村小学校4年生）



Y 本は子どもたちの未来を拓く

子どもたちが知識を得て、思考力や想像力を養うために、読書することは大切な手段の一つです。しかしラオスでは、長く続いたインドシナ内戦終結後から現在に至るまで、国内の出版産業が十分に発達しておらず、人々が本に触れる機会が大きく不足しています。ユニセフ(国際児童基金)の「世界子供白書 2019」のデータによると、5歳未満の子どもがいる家庭で、家に3冊以上の児童書がある割合は4%です。

このプロジェクトを今後5年間、支援していただく自治労広島県本部の石崎幸治委員長は、4つの小学校の学校図書室オープンに寄せて送ったビデオメッセージの中で、「読書による学びから、人のつながりを大切にする、他の国の人と交流し、お互いが成長していくことの大切さをみなさんに感じてほしいと思います」という言葉を贈っています（メッセージの全文をP6に掲載しています）。

子どもたちが本に触れる機会をつくるお手伝いを、私たちはこれからも地道に、コツコツと続けて行きます。本が子どもたちの未来を拓く力になると信じて…。自治労広島県本部の皆様にご感謝いたしますとともに、引き続きのご支援、どうぞよろしくお願いいたします。

Y 愛される図書室をめざして

図書室の設置は、学校の先生たちにとっても、はじめての経験です。そのため、支援プロジェクトの一つとして、図書室を担当する先生たちの研修も実施されました。先生たちからも、感謝の言葉が寄せられました。



「ナーサオナン村小学校の校長として自治労広島県本部の皆様のご支援に心より御礼申し上げます。今回ご支援をいただいた図書室は児童だけではなく、この村の人々にとってもとても大切な場所になるでしょう。子どもたち、そして

支 援 国 か ら 活 動 報 告



ベトナム

◆ ハイフォン市の子どもたちへ奨学金を贈りました

「アジア子どもの家奨学金基金」は、1999年に自治労栃木県本部のご支援により設立されました。基金の管理はベトナムのハイフォン市児童保護基金にお願いしています。支援金をベトナムの銀行に預金、その利息を毎年ハイフォン市の困難な状況にある子どもたちに奨学金として贈っています（現在のベトナムの預金金利は7%）。

今年も9月21日までにハイフォン市児童保護基金から、ハイフォン市にある4県の子どもたち76名に、奨学金として1人900,000ベトナムドン（約4,100円）と100,000ベトナムドン（約450円）分のプレゼントが贈られました。

基金からの奨学金により、困難な状況でも頑張っている子どもたちが、今年も教育を受けることができます。基金を設立して下さった自治労栃木県本部の皆様に、心より感謝いたします。



●奨学金を手に笑顔を輝かせる子どもたち



ラオス

◆ ドンクワイ村小学校図書館に図書等を寄贈しました

首都ビエンチャン都郊外にあるドンクワイ村小学校図書館は、2013年に自治労青森県本部の支援で建



●多くの子どもたちで賑わう図書館内

設されました。その後も同県本部には、図書や文房具の寄贈などの支援を継続していただいています。今年もラオスの新学年度開始の9月に合わせ、114冊の図書と、生活が苦しい家庭の子どもたちに配布するためのノートなどの文房具の購入の支援をいただきました。

継続的な支援により、図書館の活動は軌道に乗っています。例えば小学1、2年生の低学年の児童には、毎朝、先生たちが読み聞かせをしています。その影響で、児童の読み書きの能力が向上しているとのこと。最近、校門が開く7時前に登校して、図書館が始まるのを待っているそうです。

自治労青森県本部の皆様の温かいご支援に、エファ事務局も心より感謝いたします。



カンボジア

◆ 幼稚園教員養成校の訓練生に奨学金を贈りました



●14名の奨学生たち

カンボジア国立幼稚園教員養成校は、自治労のご支援により首都プノンペンに1997年に設立されました。

国内で唯一の幼稚園教員を養成するための教育機関です。多くの卒業生が、国内各地で就学前の子どもたちの教育に携わり、活躍しています。

自治労の九州地区（福岡、佐賀、長崎、大分、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄）の各県本部で構成される九州地区連絡協議会のご支援により、2019年11月から今年8月までの間、同校の14名の訓練生に、月25ドル（約2700円）の奨学金を贈りました。奨学生には、自身が孤児であったり、家族の収入が低かったり、また障害を持つ訓練生が選ばれました。それぞれの奨学生が、熱い想いを抱いて、日々学んでいます。

自治労九州地区連絡協議会の皆様のご支援に、心より感謝します。



国内

◆ エファグッズの販売をしていただきました(大分)

自治労大分県本部で9月に開催されました、同県本部定期大会で、エファが支援する3カ国で製作されているフェアトレード商品、「エファグッズ」の販売をしていただきました。同県本部には、毎年、グッズ販売にご協力をしていただいています。

会場入り口での検温やマスクの着用、手指の消毒など、新型コロナウイルス感染症の感染予防策を徹底しての大会でしたが、たくさんのグッズを販売していただきました。心より感謝いたします。



●エファグッズを購入する組合員の皆様

新型コロナウイルス緊急支援募金の活動報告書を公開しました

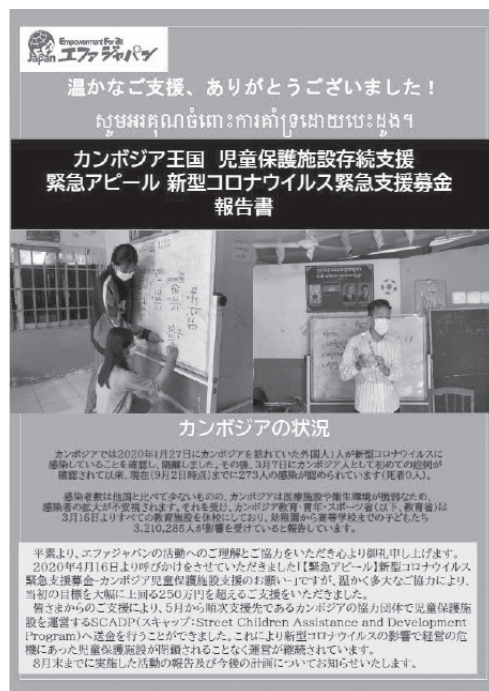
2020年4月16日より皆様にご協力をお願いしておりました、『【緊急アピール】新型コロナウイルス緊急支援募金 - カンボジア児童保護施設支援のお願い-』ですが、温かく多大なご協力により、当初の目標を大幅に上回る250万円を超えるご支援をいただきました。

皆様からのご支援により、5月から順次、支援先であるカンボジアの協力団体で児童保護施設を運営するSCADP（スキャップ：Street Children Assistance and Development Program）へ送金を行うことができました。これにより、新型コロナウイルスの影響で経営の危機にあった児童保護施設は、閉鎖されることなく運営が継続されています。

2020年8月末までに実施した活動の報告書を作成しました。今後の計画についても、お知らせしております。下記のURLまたは右のQRコードにアクセスしていただくとご覧になることができます。

<https://www.efa-japan.org/files/1f9c03fb727826a1f56b410941cb9410.pdf>

1f9c03fb727826a1f56b410941cb9410.pdf



Interview

ペット・チャンデライさん（ラオス・ケンモー村小学校校長）

「この図書室はケンモー小学校の財産です！」

巻頭特集でご紹介しました、ラオス・サントン郡の学校図書室支援プロジェクトで、図書室が開設された、ケンモー村小学校の校長先生に、図書室に対する想いをお聞きしました。

Q. 図書室が小学校にできた感想をお願いします。

A- 自治労広島県本部及びエファの皆様へ、心より御礼申し上げます。この図書室はケンモー小学校の財産です。

Q. 図書室を開設したいと考えた理由は何ですか？

A- エファの支援で開設されていたサントン郡内にある別の小学校の図書室を、昨年、視察する機会がありました。その時、子どもたちの学習能力と教員の質の向上を促すためにも、図書室が大変役に立つ場所であることを学びました。いつかケンモー村小学校にも、図書室をつくりたいと考えていました。

Q. 今後、図書室に期待することは何ですか？

A- 子どもたちは、たくさんの物語を読むことができ、国語であるラオ語を読む力・書く力を伸ばすことができると期待しています。また、教員にとっても、授業に必要な内容の本を読み、より良い授業の準備をすることができると信じています。今後、いろいろな専門家のアドバイスを受けて、この図書室を発展させていきたいと思っています。



ペット・チャンデライ校長

EFA's Letter

巻頭特集でご紹介しました、ラオス・サントン郡の学校図書室支援プロジェクト。9月17日に4つの小学校で、ラオス国立図書館館長やビエンチャン都立図書館館長、サントン郡教育局長、そして各村の村長などを招いて図書室オープンセレモニーが開催されました。エファからはラオス事務所スタッフのソンパンが出席。セレモニーでは、プロジェクトを支援していただく自治労広島県本部の皆様からのメッセージビデオが上映されました。メッセージの全文を掲載させていただきます。

学校図書室がオープン! 「本を手にした君たちへ」

自治労広島県本部からラオスの子どもたちへのメッセージ

ラオスのみなさん、こんにちは。

私たちは、自治労広島県本部です。

自治労は、地方自治体で働く職員や公共サービスに関連する職場で働く労働者が結集している労働組合です。

広島県は、日本の中国地方にある人口約 280 万人が暮らす県で、

その広島県で集まっている自治労の仲間が「自治労広島県本部」です。

みなさんの学校へ図書室が出来ること、

そして、その図書室をつくることに私たちが関われることを大変うれしく思っています。

この図書室をみなさんが使っていくためには、学校の先生や地域で学校を見守ってくれている人、

そしてみなさんのお父さんやお母さんなどの家族の協力がとても大切です。

そうした人たちの協力があって、はじめて図書室は完成することができました。

そのことをまずみなさんに知っておいてもらいたいと思います。

これから、みなさんがこの図書室での読書を通じて、さまざまな物語を学び、さまざまな事に関心を持ち、将来の可能性を大きく広げていくことを願っています。

みなさんは限りない成長の可能性を全員が持っています。

そして読書による学びから、人のつながりを大切にすること、他の国の人と交流し、お互いが成長していくことの大切さもみなさんが感じて欲しいと思いますし、私たちもみなさんが大きく成長することを願っているということを知って欲しいと考えています。

今は、新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、多くの人が苦しみに耐えている中、

みなさんも我慢していることが多いと思います。

今はつらくてもいつか乗り越える日が来ることを信じてみなさん頑張ってください。

私たちも今は日本からラオスに行くことが難しいので、みなさんと直接顔を合わせて想いを伝えることはできませんが、いつかみなさんとお会いし、親交を深めることができることを私たち自治労広島県本部は待ち望んでいます。

みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

さようなら

またお会いしましょう



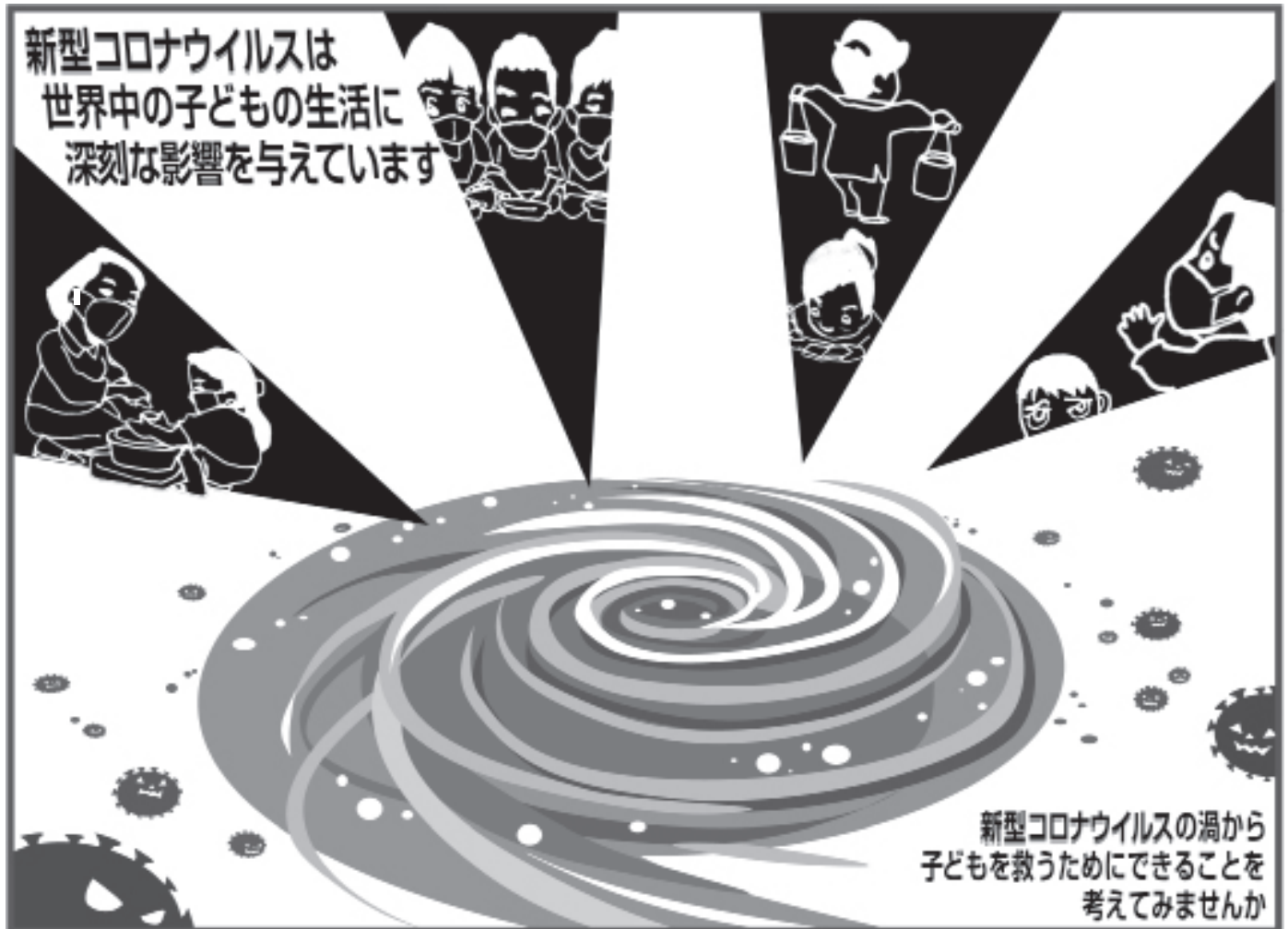
下の URL、または右の QR コードにアクセスしていただくと、上映されましたメッセージビデオ（ラオ語字幕付き）をご覧になることができます。

https://www.youtube.com/watch?v=wlb_xcwKkQs



SDGs教室 - 特別編 ② -

作画:ヘッポコ絵描きのyakko 



世界の人口のうち 40%にあたる **30億人**には
石鹸と水で手を
洗う設備が自宅
にありません

(手洗い指導)



約 **190ヶ国**で休校措置がとられました



給食が食べられなくなっているために
3億7千万人の子どもたちの栄養と健康に
深刻な影響を
及ぼしかねません

(様々な食料援助も
なされているが...)



お知らせ

インターネットの各サイトでエファの新着情報をチェック！

エファでは、最新情報をインターネット上でも発信しています。下記のサイトへアクセスしてみてください！



公式ウェブサイト



公式フェイスブック



公式 YouTube チャンネル

募集

2020年度も「身近なことでできる国際協力」を！

2020年度も、「身近なことでできる国際協力」でのご支援をお願いしています。

「古本募金」「書き損じハガキ」「使用済み切手」で、アジアの子どもたちを笑顔にすることができます！



「使用済み切手」

➡郵便物に貼られている切手の、周囲約1 cm 程を残して切り抜き、エファ事務局まで直接お送りください。

「書き損じハガキ」

➡エファ事務局まで直接お送りください。

「古本募金」

➡0120-29-7000 までお問い合わせください。

エファジャパンは認定NPO法人です

認定NPO法人であるエファジャパンへの会費（正会員を除く）、寄付、古本募金などの支援は税制優遇の対象となります。詳しくはエファジャパンHPをご覧ください。エファジャパン事務局までお問い合わせください。

今号の表紙

2013年にオープンした、ラオスの首都ビエンチャン都郊外にあるドンクワイ村小学校図書館。P4の「支援国から活動報告」でご紹介しましたように、今年も新しい本を、自治労青森県本部のご支援により寄贈させていただきました。オープンから7年。子どもたちや村の人々の生活に、図書館で本が読めることが根付き始めています。図書館の外でも女の子が笑顔で読書していました。

えんぱわ エファジャパン広報誌 Vol.59
発行人・伊藤道雄 編集・エファジャパン事務局



特定非営利活動法人エファジャパン

〒102-0074

東京都千代田区九段南 3-2-2 九段宝生ビル 3F

TEL:03-3263-0337 FAX:03-3263-0338

E-Mail:info@efa-japan.org

URL:http://www.efa-japan.org